

# ProMED-mail情報 2020年 7月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介し、FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
25日	ペスト コンゴ民主共和国	今年6月以降、イツリ州レティ保健区で症例が急増。最初の症例である12歳女児の死亡を皮切りに、同区でペスト疑いの死者が相次いで報告された。6月11日～7月15日の間、同区内の22保健地域のうち6地域で、計45症例が報告され、2症例がペスト敗血症の兆候を示し、他は全て腺ペストと診断された。9例が死亡（致死率20%）し、うち4例が咳（肺ペストを疑う兆候）を呈した。
22日	腸チフス パキスタン	カイバル・パクトゥンクワ州で症例が急増し、COVID-19の蔓延による健康危機をさらに悪化させている。関係者によれば、毎日数百の症例が報告され、農村地域でかなりの数の世帯が苦しんでいる。本疾患は、COVID-19と同様の症状を示す可能性があり、州の医療当局を困惑させている。
21日	ペスト モンゴル	モンゴル国立人獣共通感染症センターによると、死んだマーモットで遊んだホブド州の6歳児が高熱と発疹の症状を呈し、腺ペストとして地元の病院に隔離されている。モンゴルでは、今年これまでに計7例の腺ペスト疑い例が報告され、そのうち3例は検査で確定している。国内全21州のうち17州が腺ペストのリスクにさらされている。
18日 8日	日本脳炎 台湾	台湾は今が日本脳炎の最盛期であり、6月16日～7月2日には40代～50代の5症例、今週には40代～60代の3症例と乳児の1症例が報告された。乳児は、生後3か月の男児。1999年に届出が始まってから最年少の症例で、高熱と食欲不振で診療所に連れてこられ、更に検査するために病院に紹介された。男児は病院で痙攣を起こし、後に日本脳炎と診断された。
18日	ペスト 米国 (コロラド州)	当局によると、本年初夏、州南西部の住民がペスト敗血症を発症し、その後、回復した。この州での患者発生は、2015年以来初めて。この住民は、腺ペスト陽性のリスと接触しており、このリスから感染したとみられる。
13日	豚インフルエンザ ブラジル	パラナ州イビポランでA(H1N2)の変異株(A/H1N2)vによるヒト感染が起きた。豚食肉処理場で働いていた22才の女性がインフルエンザ様の病気を発症し、タミフル投与で回復。採取された呼吸器検体の遺伝子検査で(A/H1N2)vと判明。この処理場と従業員の住む地域で疫学調査が始まり、同じ処理場の別な1人が同時期に呼吸器症状を呈したことがわかった。しかし、検体は採取していなかった。また、患者の接触者に疑い例が無いことが判明している。
13日	ジカウイルス感染症 中南米	今年第1週～第21週(5月)の間、この地域で7,452例が報告された。最も多いのはブラジルの6,387例で報告例の86%を占め、死者1例を含む。次いでボリビア537例(8.4%)、ガテマラ133例(2%)。この地域での流行は、2015年にブラジルで初めて見つかったからで、翌年には651,390例が報告されている。
7日	ウエストナイル熱 米国 (フロリダ州)	マイアミ・デイド郡保健当局は、少なくとも住人18人のウエストナイル熱ウイルス感染を確認した。本郡では蚊媒介感染症の警報が発せられている。本疾患は、米国での蚊媒介感染症の主なものであり、この夏の本疾患の増加には大雨で蚊が爆発的に増えたのが多分に影響しているとされる。
7日	乳児ボツリヌス症 台湾	今年初となる乳児ボツリヌス症が台北で発生。台湾CDCによると、今年5月中旬、生後4ヶ月の男児が自家性食品を食べてから便秘が始まり、6月23日に食欲不振となり、6月25日に発熱と呼吸困難を起こして病院を受診した。
3日	ジフテリア ベトナム	ベトナム中央高原コントゥム省で6月29日夕方、ジフテリア3例が報告され、この省での今年はじめからの合計は、8例となった。
1日	豚インフルエンザ 中国	新しい株が豚の間で最近出現し、G4 EA H1N1と命名された。人への感染に高度に適応しており、食肉処理場や養豚施設の従業員への感染が証明されている。専門家は、この株がさらに変異して感染力が増強し、人から人へと容易に広がってパンデミックを起こす可能性があるかと懸念を示し、豚の間での広がりを制御するために注意深く監視する必要があると語っている。